



～ 多様な個性・価値観・ライフスタイルを尊重しあい、
無意識の思い込みやハラスメントに気づき、誰もが健やかに成長や挑戦ができるキャンパスに ～

Beside you 通信 第58号

●お知らせ - アンケートを計画しています -

本学で働く全ての方の意識を反映した取り組みの参考にするため、9月にWEBでの意識調査を実施し、鳥取大学のダイバーシティ環境を一層推進することとしています。

今回は特に、意思決定や管理的な役職の女性割合や女性教員比率が低いことへの対応や、性別に関わりなく育児や介護等と仕事の両立のしやすさ、職場の雰囲気や制度、仕事のやりがいなど、広範囲の設問となっています。

詳細はメールなどでお知らせしますので、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

 全教職員の方が対象です 

よろしく
お願いします！



この号の内容

- ◆お知らせ
ダイバーシティ環境推進に関するアンケートを計画しています
- ◆活動報告
大学入門ゼミに学ぶDEI配信しました
- ◆お役立ち情報①
LGBTQ+セミナーを予定しています
- ◆キャンパスメンバー紹介
中島 廣光さん（学長）
- ◆お役立ち情報②
休憩室&相談室利用のご案内

●活動報告 大学入門ゼミに学ぶDEI -ダイバーシティセミナー配信しました-



6月23日～7月22日の1か月間、今年度全学部の1年生が受講したダイバーシティに関する大学入門ゼミセミナーを2年生以上の学生と教職員に配信しました。内容は、無意識の偏見への気づき、DEI（Diversity-多様性の尊重、Equity-公平性の確保、Inclusion-包括・包摂的な環境）に関連する各種制度、法令や話題について、私たちはどうあればよいか、という構成で推進室スタッフが制作しました。

視聴後のアンケートには、幅広い年代・所属から回答があり、「DEIやSOGIという言葉は知らなかったのととても勉強になった」、「研修をきっかけに、多様性に関連する社会の動きをもっと勉強していきたい」、「普段の職場・家族での会話やテレビのニュースなど、聞き流してしまう内容にも、無意識の偏見や思い込みが隠れている事に気づいた」などの感想が寄せられました。

★お役立ち情報① LGBTQ+について - セミナーを予定しています-

LGBTQ+（セクシャルマイノリティ）について、教職員対象のセミナーを9月にmanabaで配信予定です。学生や同僚、家族などとの関わりで日ごろ気をつけたいことなど、LGBTQ+に関する基礎知識や、カミングアウトへの対応、気をつけたい表現などを専門家にわかりやすく解説いただきます。詳細が決まりましたらお知らせします。

また、当推進室にはセクシャルマイノリティに関する書籍があります。貸出もしていますので、学生・教職員の方問わず、どうぞご利用ください。



★キャンパスメンバー 特別寄稿 中島 廣光さん (学長)

鳥取大学はグローバル人材の育成に力を入れており、全学の学生が参加できる海外派遣プログラム、Global Gateway Programを用意しています。その中のメキシコ海外実践教育プログラムは2005年から始まった歴史のあるプログラムで、南バハカリフォルニア州のラパスに6週間滞在し、南バハカリフォルニア大学で、英語で授業を受けたり、また、スペイン語を習ったり、メキシコの大学生と一緒にフィールドワークをしたりする実践的なプログラムです。



ラパスの町のタコス屋さんでタコス

私とメキシコとの関係は、そのプログラムが始まる少し前、2001年から2004年まで鳥取大学の農学部が行ったJICAの「乾燥地における農業農村振興」事業に農業の専門家として参加したことに始まります。借り上げたラパス郊外の大きな屋敷に毎年1ヶ月ほど、時には研究室の学生を連れて滞在し、メキシコ北西部生物学研究センターの研究者と一緒に現地の調査をしたり、農家の指導をしたりしました。現地の運転免許証も取得し専用の自動車ですべての場所に行きました。現地の料理とビールに魅了され、すぐに覚えたスペイン語が「セルベッサ。ポルファボール。」(ビールを下さい)「ウナマス」(もう一本下さい)。メキシコ人は陽気で、とてもフレンドリーです。また、「メキシコ時間」というものがあり、現地のスタッフとの会議を計画しても、時間通りに集まるのは日本人だけ。メキシコにいと時間通り、計画通りにきちんと動く日本のやり方が息苦しく感じられ、大雑把な私はすぐに「メキシコ時間」に染まってしまうました。

2013年に教育・国際交流担当の理事になり、10年ぶりにラパスを訪問。理事をしている間は毎年のようにメキシコ海外実践教育の開講式か閉講式に参加し、学長になった1年目の夏も、また、コロナで3年間中断していた再開した昨年の8月末も開講式に参加しました。これまで10回以上ラパスを訪問し、その都度メキシコライフを満喫し、おそらく、学長を辞めた後も息抜きにふらつと行くと思います。



ラパスの郊外に出るとそこかしこにサボテンが

インタビュー♪ 3人の息子の育児は妻に任せきりだったが、博物館など体験学習にはよく連れて行った。5人の孫の家庭の様子から、育児や家事を協力しあう大切さを実感している。

若手や女性教員、各学部の声をきく機会を年に数回設けていて、男女問わず育児中教員の1限担当は負担が大きいこと、豊かな生活と仕事の捉えは多様であると感じる。性別など差異はあっても、仕事のチャンスは等しくあるとよいと思う。

みな健康で楽しく学び働き、意見を言いやすい風通しのいい人間関係をつくり、失敗しても何度でも挑戦できる鳥取大学であるよう、おらかな心や時間を大切にしたい。

★お役立ち情報② - 休憩室&相談室利用のご案内 -

ダイバーシティキャンパス推進室の場所は、鳥取キャンパスの時計塔がある地域学部棟4階エレベーターを出て、右側突き当りにあります。利用時間は平日9時～16時(室員の在室時となります)。

推進室内の【休憩室&相談室】は、どなたでも利用できます。体調不良時の休憩や、育児や介護等とのワークライフバランス、LGBTQ+などに関する書籍やDVDの貸出もしていますので、どうぞご利用ください。

また、研究活動や仕事と、ライフイベントや家庭との両立をする上での相談支援、性的マイノリティなどに関する相談も伺います。下記の予約フォームからお申込ください。



ご要望・ご相談などは、下記までお寄せください

〒680-8550

鳥取市湖山町南4丁目101

ダイバーシティキャンパス推進室(地域学部棟4階)

TEL: 0857-31-5769 (内線2166)

FAX: 0857-31-5797

Email: diversity@ml.adm.tottori-u.ac.jp

H P: <https://www.tottori-u.ac.jp/diversity/>



相談予約
申込フォーム



Beside you

Tottori University Office for Campus Diversity

鳥取大学 ダイバーシティキャンパス推進室